

FSCの設立趣旨

土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする。

全国大学附属農場協議会への参加

八雲牧場職員 工藤 翔太郎

去る9月12日に全国大学附属農場協議会が山梨大学にて行われました。八雲牧場からは小笠原講師と工藤が参加しました。

農場協議会全体では三重大学より肥育牛の販売方法について、常任幹事より技術職員の業務形態や技術継承について話題が上がり、各大学で問題を抱えている様でした。シンポジウムでは山梨大学の先生方が「サイクロデキストラン～砂糖から作られる機能性環状オリゴ糖～」、「乳から見える世界いろいろ-乳製品と私たち-」、「野菜・果物の健康増進効果と摂取の現状」についてご講演されました。私が参加した技術職員集会では『外実習中の対応について』をテーマに各大学職員と意見交換をしました。内容は実習中における熱中症対策で私からは八雲牧場実習における熱中症対策として、製氷機の導

入および実習中の飲料の提供を行っていることを発言しました。他大学の対応は暑さ指数を示す装置の導入、瞬間冷却剤の常備などで今後の参考になりました。

今回、他大学の技術職員との交流を通じて、自身の役割を見直し、大学職員としての意識を高めることができました。また、教育や研究に対する他大学の職員の考え方を知り、大変有意義な経験となりました。今後は大学職員として、経験や感覚に基づいた技術に留まることなく、数値など誰でも理解が容易なデータの集積など技術職員でも対応可能な技術を養いたいと思います。普段はできない他大学職員との交流ができる全国農場協議会は自身の意識を変える機会でもあり、今後も協議会には積極的に参加していきたいと思いました。

北海道・東北地域附属農場協議会への参加

十和田農場職員 大倉 聡生

8月29日、30日に秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センター（以下AIC）で行われた、北海道・東北地域附属農場協議会に参加しました。参加校は11校（参加者30名）、29日は協議会、30日は視察研修が行われました。

協議会では、「スマート農業などの最新技術を取り入れた演習・実演メニューの指導状況」を議題とし、各農場それぞれの取り組みを紹介しました。多くの農場でロボット（直線アシスト）を搭載したトラクターやコンバインを導入し、学生実習で活用していました。

2日目の視察研修では牛舎・水田の視察を行いました。牛舎はフリーストール式になっており、肥育牛や繁殖牛ごとに区切っていました。ファームノートカラー（発情検知）や牛温計（分娩の検知）を使用してタブレットと連携することで、牛の状況がわかりやすく、迅速な対応が可能とのことでした。また敷料は近隣の農家さんから無料で頂いたもみ殻を使用したり、規格外の農産物を飼

料として利用したりと、地域と連携した生産が行われていました。

水田は23haほどを所有し、1.25haと4～6aの面積で区切り実験に使用していました（あきたこまち主体で一部酒米を栽培）。スマート農業の取り組みとしては、ドローンを導入し殺虫剤の散布などを行っており、作業時間の短縮ができ、正確な作業が可能とのことでした。AICでは社会人を対象としたスマート農業指導士プログラムを開講しており、スマート農業の普及に向けた人材育成にも力を入れていました。

協議会を通して今後の農業について考えさせられるいい機会になりました。



写真：新設牛舎内部の様子

今号のどうぶつ紹介



あいちゃん
(マンクス・ロフタン種)

十和田農場の重鎮、あいちゃんを紹介します。2019年に誕生したあいちゃんは、今ではマンクスの中でトップの体重を誇り、周りのマンクスたちをビビらせています。マンクスはあいちゃんのように角が後ろに生えるタイプと、上に突き出して生えるタイプに分かれます。後者のほうが気が荒く強いのがセオリーですが、あいちゃんはそんな常識を打ち破るニュータイプ。その場から一步も動かずに、振り向いただけでみんなをたしなめるボスの存在です。

八雲牧場、今期学生実習終了

八雲牧場では、6月24日のE科の学生実習を皮切りにZ科3班、医学部1班およびヤマザキ学園（動物看護大学、短期大学、専門学校）1班の学生実習が行われました。今年の夏も猛暑となり、熱中症に心配しながらの実習となりましたが無事終了することができました。

また、ここ数年の暑さから実習所内も暑くなり、今までは窓の開放や扇風機でしのいでいたでしたが、利用者の健康面を考慮し、八雲総合実習所各部屋にエアコンを設置することになりました。来年は快適に実習所で過ごせることと思います。



写真…学生たちが牛群を追いつく様子

牛木 信夫氏 ご逝去

八雲牧場嘱託獣医師として、長年実習に携わる

八雲牧場嘱託獣医師の牛木信夫氏（IVV）が8月27日にご逝去されました。牛木先生は八雲牧場開設当時からZ科（畜産学科～動物資源科学科）の実習に携わって下さり、多くの学生が先生から多くのことを教えてもらったことと思います。

実習対応だけではなく、学生が来る前から学生にヒグマなどの野生動物の危険が及ばないようにと実習で利用する草地圍場やその周辺をパトロールして下さり、今まで安心して実習できたのは牛木先生のおかげと感謝しています。

通常時でも牛が難産であることを知ると駆けつ

けて、朝まで対応いただくこともありました。

生前、牛木先生は「自分は椿先生（故 椿精一先生）に八雲牧場頼むぞ。といわれたことから今まで続けてきている。」と仰っていました。永きに渡り八雲牧場を支え続けてくれた牛木先生に感謝するとともに遺された我々が先生の意味を引き継ぎ、八雲牧場をしっかり支えていきたいと思います。



写真：2018年
忘年会にて

次号の予定と編集後記

今年の夏は嫌な暑さでしたね。ずっとジメジメしてカラッと気持ちの良い天気恵まれず、十和田農場の牧草の出来もいまいちです。そう思えばいきなり寒さがやってきたり…皆さんは体調を崩してはいないでしょうか。私はよくわからない熱が出ました。

これから短い秋が通り過ぎ、来るのか来ないのか

冬…できれば来ないでほしい冬。

十和田農場では10/5, 6に東京スピニングパーティーというイベントに参加してきました。次号は大盛況だったその様子をお伝えします。また先日は、理事長学長が十和田農場に來場し、羊たちが放牧されている風景や多くの品種が並ぶ牛たちに高評価を得ました。獣医学部のみならず、法人全体でどんどん農場を利用してもらえれば嬉しいなと思います。（編集：岩城）